



プライマリ・ケア看護師育成 を試みて

揖斐郡北西部地域医療センター 菅波祐太

揖斐川町

22,000人

35%

900人

50%



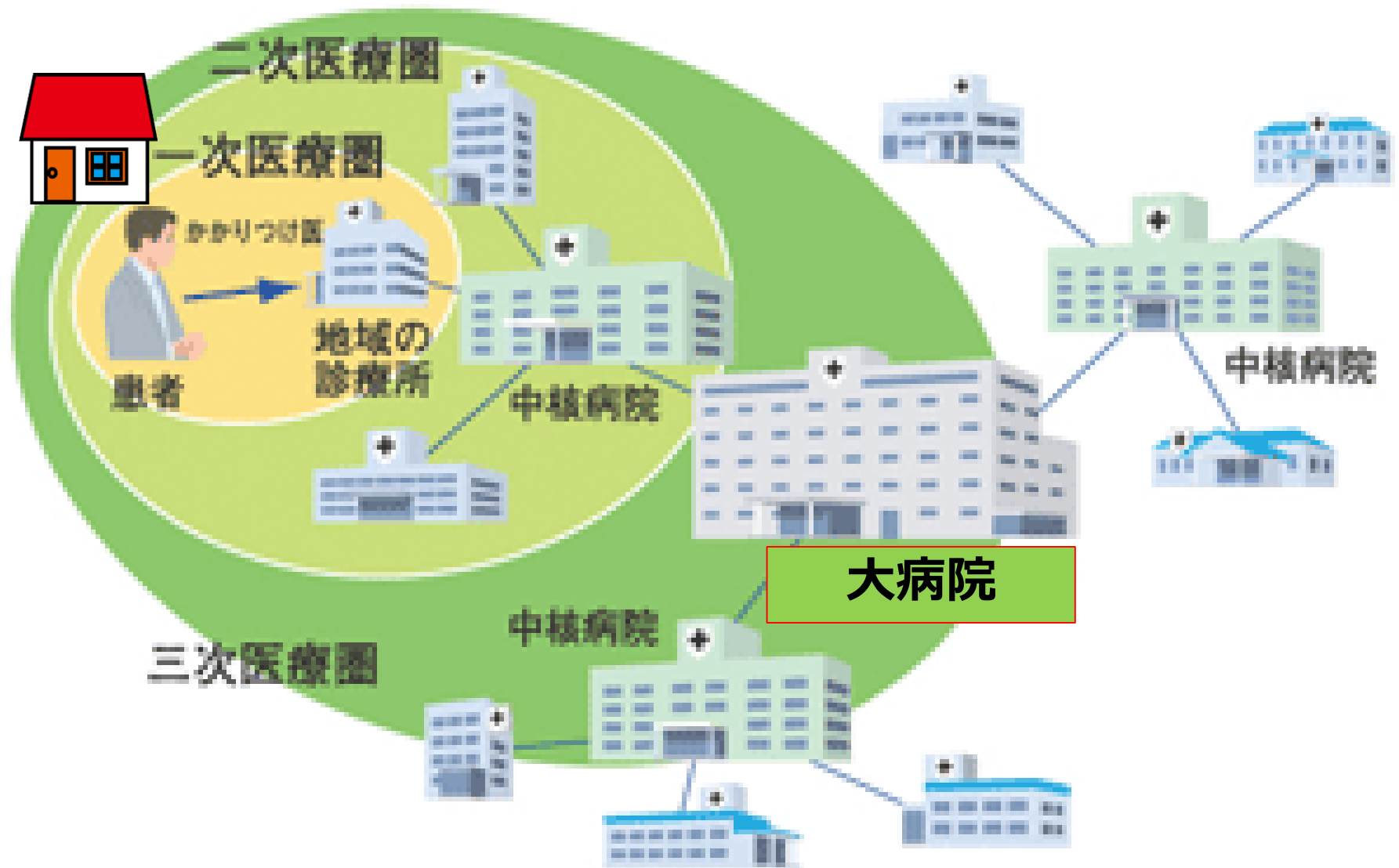
揖斐郡北西部 地域医療センター

- ① 久瀬診療所（無床）
- ② 老健（59床）
- ③ デイケア
- ④ 訪問介護
- ⑤ 居宅介護支援

“住民の生老病死を支える複合施設”



プライマリ・ケア



プライマリ・ケア

身近な存在で、患者に起こる多様な
問題に対処し、
家族や地域のことにも気かけながら、
提供される医療・介護サービス

*Donaldson, M. et al : Committee on the future of primary Care, Institute of Medicine:
Primary care: American's health in a new era. The National Academies Press, 1996.*

なぜ、プライマリ・ケア看護か

JADECOMの目的は、へき地医療の確保と質の向上である。
特定ケア看護師の育成もそれを目的としている。
へき地では何が起きているか？

「高齢化と極度な人口減少，市町村財政の限界，2次病院の
体力低下」である。そこで，効率的で効果的かつ持続可能な
地域包括ケアシステムの構築が課題である。そこに，「**プラ
イマリケア**」の充実が必須である。

看護師を含めた「あらゆる人材不足」が課題である。
中央からの支援だけでは持続性に問題があり，**各地域の中で
地域医療を担える人材の発掘と定着**が欠かせない。
そのためにはやりがいを感じながら働ける職場づくりが必要
で，そこに，「**教育**」が必須である。

プライマリケアを楽しめる看護師育成が求められている。

プライマリ・ケア看護

“一人ひとりにじっくり，しっかり向き合える”

“患者・家族が主役．対象の最善を考えられる”

“本人と一緒に考えることができる”

“元気になってもサヨナラじゃない”

“良い時も悪い時も継続して関わることができる”

“その人だけでなく，その方の家族，地域の方
も含めて関わることができる”

地域での健康教育

- 健康問題が起こらぬよう
 - 元気な人にもアプローチ
 - 地区の集会で熱中症対策
 - たまたまTVにも出演
-
- 熱中症での入院，死亡者はゼロ

揖斐川町は きのう全国1位
最高気温 39.3℃

プライマリ・ケアにおける一次予防

- ・ 地域に対する責任感
- ・ 予防医療の重要性理解
- ・ 地域の健康問題を把握する力
- ・ 住民団体との企画調整
- ・ 患者・住民教育力

揖斐川町はきのう全国1位
最高気温 39.3℃

看護師自身の 考える 課題

- 疾患知識の獲得
- 技術の向上
 - 基本：食事介助など
 - 専門：呼吸リハビリ,
リンパドレナージ
- ターミナルケア
 - コミュニケーション
- 後進育成

医師から みた課題

- **まずは向上心と責任性**
- **看護アセスメント力**
 - よくある疾患・症候知識
 - 情報収集
 - 臨床推論
- **振り返る力**
 - 自己主導的学び
- **指導や管理の力**

特定ケア看護師とのコラボ

- ① 特定ケア看護師であれば、プライマリ・ケア看護ができるというわけではないと思うが、特定ケア看護師の学びは、必ずプライマリ・ケア看護に活きる。
- ② ヘき地看護師のやりがいや、働きやすさ向上につながるような仕事があれば、ヘき地医療の確保と質の向上につながる。
- ③ 全国のヘき地の現場で、看護師が向上心を持てるような環境づくり（仕掛けづくり）がまずは重要。
- ④ ヘき地看護師，病院看護師，特定ケア看護師が互いの強みを生かし，共に学びあえる関係を目指そう。



ぜひ揖斐にお越しください